

別所線活性化協議会 会議録

日 時 : 令和4年5月27日(金曜日) 10:00~11:30
会 場 : 別所温泉 あいそめの湯ホール
出席者 : 20名中 17名 出席 別紙名簿のとおり
会議概要作成年月日 : 令和4年6月7日

1 開 会

○事務局 上田市交通政策課 竹内課長

2 あいさつ

○上田市 土屋市長

- ・出席者の皆様には、日頃から市政、別所線振興にご協力をいただき、感謝申し上げます。
- ・別所線活性化協議会設立に際し、これまでの経過について触れさせていただく。
- ・別所線は昨年開業100周年を迎えた。これは、先人が別所線存続のために力を尽くしたことの表れである。
- ・令和元年東日本台風に際しては、別所線千曲川橋梁が崩落したが、532日間の復旧作業を終えて、昨年3月28日に全線開通を使えることができた。市民、事業者、行政が一丸となり、次の100年へ向けての大きな前進となった。
- ・別所線は右岸と左岸を結ぶ市民の心の架け橋であるとともに、未来への架け橋であると感じている。
- ・復興にあたっては、国、県、その他様々な方の御支援を賜り、感謝申し上げます。特に国には別所線千曲川橋梁の公有化について、深く関わっていただいた。
- ・令和2年には、日本遺産に別所線も認定された。この認定を1つのきっかけとし、新たな別所線100年の歴史を刻んでいきたい。
- ・別所線安全対策事業は、平成16年度より国・県から協調補助を受けながら、市も補助を行ってきた。
- ・令和元年東日本台風の際の借入金に関しても、令和2年度から年間3000万円の追加補助をスタートした。
- ・コロナ禍により輸送人員減少など大きなダメージを別所線は受けている。そのため、市が主体となり、復興・活性化プロジェクトを行っていく必要があると考えている。
- ・本日は「別所線電車存続期成同盟会」、「別所線再生支援協議会」の両団体を統合し、設置された「別所線活性化協議会」の第一回協議である。これまで各々が担ってきたハード・ソフト施策を一体的に推進し、別所線をより盛り上げていきたい。
- ・私も2期目となり、別所線をはじめ、バス・タクシーといった公共交通の維持・確保にも、今まで以上に全力で取り組む所存である。是非、御協力を賜りたい。

○上田電鉄 山本社長

- ・本日はお忙しい中お集まりいただき、また、平素よりご支援を賜り、感謝申し上げます。
- ・昨年度の別所線100周年は様々な方の支援を受け、無事迎えることができた。
- ・現在、地方鉄道の存続について、全国で議論が行われている。弊社としては、経営の健全化により力を入れ、路線存続を図っていく。今後とも一層の支援をお願い申し上げます。

3 委員委属、委員紹介（名簿配付）

- 事務局 上田市交通政策課 竹内課長

4 議事

(1) 別所線活性化協議会設置要綱（案）について

資料1

- 事務局 上田市交通政策課 山田補佐

- ・ 資料1-① 資料1-② 資料1-③に基づき、概要を説明
- ・ 本協議会は、上田市を事務局として運営を行ってきた「別所線電車存続期成同盟会」と「別所線再生支援協議会」の両団体を統合し、設置するものである。
- ・ 台風19号における別所線千曲川橋梁の公有化、新型コロナウイルス感染症による上田電鉄の経営状況などを鑑み、従来以上に市が別所線の復興に向け、関わっていく必要がある。そのため、本協議会では、これまで両団体が各々担ってきた、ハード・ソフト施策を一体的に推進していく。
- ・ 本協議会は地域公共交通の活性化及び再生に関する法律を設置根拠としている。
- ・ 任期は本来2年だが、一期目は第一回協議会から令和6年3月31日までとする。
- ・ 副会長は会長が指名する形をとる。また、監査委員は委員の中から会長が指名する。今回は副会長を花岡様、監査委員は竹田様、佐藤様をお願いしている。
- ・ 協議会は委員の過半数の出席がなければ開催することができない。

※意見質疑 なし ⇒ 資料1-③別所線活性化協議会設置要綱について
原案のとおり承認

(2) 別所線電車存続期成同盟会 令和3年度事業報告等について

資料2

- 事務局 上田市交通政策課 山田補佐

- ・ 資料2-① 資料2-② 資料2-③ 資料2-④ 資料2-⑤に基づき、概要を説明
- ・ 別所線電車存続期成同盟会の令和3年度事業の実施報告、チケット・チラシ・時刻表といった成果物、令和3年度収入支出決算書、監査報告書の説明を行う。
- ・ 令和3年度総会は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、書面開催。
- ・ 同盟会収入は沿線地域の自治会員からの会費及び、市からの補助金120万円を予算として運営してきた。
- ・ 同盟会はチラシ作成などを主に行っていた。そのため、支出の多くはその作成費となっている。
- ・ 会計監査については、監事の竹田様、森様両名から承認をいただいている。

※意見質疑 なし ⇒ 報告案件

(3) 別所線再生支援協議会 令和3年度事業報告について

- 事務局 上田市交通政策課 山田補佐

- ・ 国への補助金計画の協議を主に行っている。
- ・ 令和3年6月10日、令和4年3月22日に書面協議を行った。

※意見質疑なし ⇒ 報告案件

(4) 令和3年度 別所線安全対策事業等の実績報告

資料3

○ 事務局 上田電鉄 村田運輸部長

- ・資料3-1～資料3-11に基づき、概要を説明

資料3-1

- ・別所線安全対策事業での取組の説明

資料3-2

資料3-3

資料3-4

- ・主な工事としては、レール交換、マクラギ・道床交換、整流器・変圧器更新、踏切保安装置更新、車輪削正交換、車両全般検査などを実施した。
- ・マクラギは合成マクラギに交換し、道床も硬質構造化に更新した。

資料3-3

- ・整流器・変圧器更新については、半導体不足によって完成が遅れている。更新終了予定は令和4年8月31日。

資料3-7

資料3-8

- ・別所線開業100周年記念企画として、6月17日から6月28日の間、別所温泉駅にストリートピアノを設置。また、6月19日にはこけら落としとして、人気YouTuberハラミちゃんに公演を行ってもらった。YouTube「ハラミちゃん公式チャンネル」での別所温泉ストリートピアノ関連の動画は、合計視聴回数が441万回以上となり別所線PRに繋がった。
- ・別所線全線開通記念特別番組、「アートはうたう」がテレビ信州にて令和3年7月25日放送。その後、全国の各テレビ局においても放送され、別所線の知名度向上に繋がったと考えている。

資料3-9

資料3-10

- ・チケットQRに関しては、QR紙回数券を発売したことで使用回数が向上した。その他、アリオ上田での物販会、ローカル鉄道グッズ物販会、オリジナル切符制作サービスを行うなどした。

資料3-11

- ・別所線輸送人員、経常収支の推移の説明
- ・令和3年度は、前年度に比べ収入・輸送人員ともに回復し、輸送人員は879千人となった。

※意見質疑 なし ⇒ 報告案件

(5) 別所線活性化の取組状況について

資料4

○ 事務局 上田市交通政策課 山田補佐

- ・資料4に基づき、概要を説明

- ・日本遺産認定1周年記念・別所線開業100周年記念事業関連イベントを市視点でまとめた。
- ・イベント・展示会としては、昨年4月～5月、JR上田駅・旧びゅうプラザにて日本遺産PRブースを設置した。また、6月には日本遺産に関連したラッピング電車、バスの出発式を行った。
- ・10月にはサイクルトレイン実験がシェアサイクル事業に伴い、実施された。これは自転車

を電車内に積み、移動するという試みだが、乗客がいる場合、車内スペースを圧迫することに繋がり、厳しいことが分かった。12月には元宝塚である月影瞳さんに一日駅長を依頼した。さらに、サントミュージゼにおいて、別所線復興の名前を関したコンサートが2公演開催された。

- ・ロゴマーク・ポスター・パンフレットとしては、全線開通ロゴが2020-2021年度ADC賞を受賞。さらにアジア太平洋広告賞で銅賞を獲得した。
- ・テレビ・新聞広告・雑誌等の取組としては、県営業局の取り計らいにより、別所線の鉄橋がアニメ「サザエさん」オープニング映像に使用されたほか、信濃毎日新聞社にて別所線100周年記念書籍が出版された。また、読売新聞において、別所線パノラマ広告が40万部発行された。6月にはテレビ信州にて、さだまさし氏、香取慎吾氏出演の記念特番「アートはうたう」が放送された。こちらは年末までに全国26局で放送され、8月21日より動画配信サイトhuluにおいても配信が決定し、現在いつでも視聴可能な状態となっている。

※ 意見質疑 なし ⇒ 報告案件

(6) 令和4年度事業計画、予算(案)について

資料5

○ 事務局 上田市交通政策課 山田補佐

- ・資料5-① 資料5-② 参考資料に基づき、概要を説明

資料5-①

- ・本協議会は年2～3回の開催を予定。また随時、協議会構成員のうち一部メンバーと長野大学・上田女子短期大学などとのワーキング会議を開催するほか、事業の実績報告などの書面協議も予定している。
- ・マイレールチケットの販売・PRに関しては、上田電鉄と協力して進めていく。
- ・今年度も7月23日から8月23日の1カ月間、夏休みキッズパス事業を行う。それに伴い、バスだけでなく、別所線においても実施可能か協議中。
- ・シェアサイクル事業が別所線沿線の駅で可能か調整中。

資料5-②

- ・本協議会令和4年度予算は、収入合計1,235,500円、支出合計1,235,500円、差引残額0円となっている。そのうちの35,000円余は別所線電車存続期成同盟会からの繰越となっている。

○参考資料

- ・上田市一般会計予算で支出している別所線関連の経費である。
- ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金を国、県ともに市も支出している。通常の鉄道事業の補助割合は国1/3、県1/6、市町村1/6、事業者1/3となっているが、上田電鉄の経営状況を鑑み、市が事業者分も負担している。

※意見質疑

○別所線の将来を考える会 竹田会長

- ・先日、別所線ラン&ウォークを開催し、参加者は200人を超えた。
- ・コロナ禍の中でも、できることをやっていきたい。

○上田バス 伊藤課長

- ・昨年5月から信州上田レイライン線の運行を下之郷～別所温泉間で開始した。
- ・昨年5月の実績は196人だったのに対し、今年度5月の実績は454人と大きく増加した。これからも別所線とともに集客に努めていきたい。

○上田女子短期大学 花岡教授

- ・学生の別所線ボランティアガイドが再開された。
- ・別所線があるというガイドにも一昨年から学生が参加し、別所温泉の活性化に取り組んでいる。

○長野大学 熊谷教授

- ・長野大学鉄道同好研究会が作成した、別所線千曲川橋梁の模型を八十二銀行で展示している。今後、3Dプリンターを活用し、より精巧な模型に改良したいというアイデアも出ている。
- ・昨年、学生が別所線と駅伝競争するといったイベントも実施した。今後も様々な形で別所線と関わっていきたい。

○上小高等学校長会 丸尾校長

- ・地元の高校生も多くが別所線を使用しているため、台風被害から復旧していただき、大変ありがたい。
- ・市内高校としても、大学、短大の取組も紹介されたが、松本蟻ヶ崎高校のような活動をすところもあるので、別所線のイベントに関わり、生徒が別所線を使いたくなるような取り組みを行いたい。

⇒ 令和4年度事業計画、予算(案)、[資料5-①](#)、[資料5-②](#)について
原案のとおり承認

(7) 令和4年 生活交通改善計画について

[資料6](#)

[資料7](#)

国土強靱化地域計画、第1次交通安全計画

○事務局 上田電鉄 村田運輸部長

- ・[資料6-1](#) ～ [資料6-10](#) に基づき、計画の概要を説明

[資料6-1](#) ～ [資料6-4](#)

- ・安全性快適性の維持向上の主な取組として、令和4年度は、前年度も行っていたレール交換、マクラギ・道床交換、踏切保安装置更新、車両定期検査に加え、千曲川橋梁の補修・調査・回収を行っていく。
- ・具体的には、下之郷、中塩田駅間にある産川橋梁に落橋防止装置の設置、千曲川橋梁のリベット交換や、4脚ある橋脚のうち3脚が約100年前の建設当時のままであるため、今後の補修などの計画立てるための健全度調査などを行う。

[資料6-5](#)

- ・令和4年度設備投資等資金計画としては、合計工事費が192,123円、負担額の内訳は、国が44,793円、県が22,397円、市が83,920円、上田電鉄が41,013円となっている。

資料 6-6

- ・利用促進事業としては、近郊・県内外における利用促進キャンペーンの推進、マイルールチケットの販売斡旋、施設内や屋外でのイベント開催、近郊の鉄道会社・大学との連携、ふるさと納税返礼品列車貸切プランの販売、記念乗車券・グッズ等の販売など、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、できる範囲の利用促進活動を行う。

資料 6-7

- ・現在、別所線で行っている instagram, twitter のフォロワーはそれぞれ 2,375 人、522 人となっている。

資料 6-8

- ・令和 4 年度上田電鉄(株)生活交通改善事業計画には、上田電鉄は生活に密着した公共交通機関であり、観光・文化面からも重要な交通機関である。一方、開業 100 周年となる路線施設は、全体の老朽化が進んでおり、これらの改修、更新を行い、輸送の安全確保を図るという事業目的・必要性がある。
- ・協議会の開催状況と主な議論として、別所線再生支援協議会においては、これまでに令和 2 年度における事業計画についての協議、令和 3 年度における事業計画についての協議、令和 3 年度補正計画についての協議の計 3 回、書面協議が行われた。
- ・別所線活性化協議会においては、本日が第 1 回目であり、議論は令和 4 年度事業計画についての協議である。

資料 6-9

- ・資料に基づき、鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画について、3 か年分説明。

資料 6-10

- ・別所線千曲川橋梁の災害復旧事業における「長期的な運行の確保に関する計画」に基づく内容である。
- ・資料に基づき、令和 4 年度鉄道事業者の収支改善計画について説明。

○ 事務局 上田市交通政策課 山田補佐

- ・資料 7-① 資料 7-②に基づき、計画の概要を説明

資料 7-①

- ・国は東日本大震災の教訓を踏まえ、平常時から大規模災害等に備えるため、国土強靱化計画の策定や、地方自治体の計画策定の支援を行っている。当市では昨年、県などの計画も踏まえ上田市国土強靱化地域計画を策定した。
- ・計画の推進期間としては、令和 3 年度から、令和 7 年度までの 5 か年となっている。
- ・計画の基本目標の中には、JR 上田駅の鉄道旅客上屋の耐震化や、バス代替輸送の確保、鉄道橋の出水による倒壊防止対策、車両の浸水回避対策などが組み込まれている。

資料 7-②

- ・また、当市では第 1 次上田市交通安全計画を策定し、推進期間を令和 3 年度から令和 7 年度の 5 か年としている。

- ・計画には鉄道事故のない社会を目指して、乗客の死者ゼロ・踏切事故ゼロが目標とされている。

○北陸信越運輸局 鉄道部 計画課 菅原課長

- ・**当日配布資料** 「第4回鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会について」を踏まえつつ、国の取組の詳細について説明
- ・平素より、鉄道事業に御理解、御協力を賜り、感謝申し上げます。
- ・現在、地方鉄道はコロナウイルスの影響も受け、かつて経験したこともないような、非常に厳しい状況に置かれている。
- ・運輸局としては、鉄道事業者・沿線自治体と協働して各地域の実情に合った活性化方策に取り組んでいる。
- ・現在、国土交通省では鉄道事業者と地域協働による地域モビリティの刷新に関する検討会を開催している。今月13日に第4回の検討会が開催され、来月28日には第5回の検討会が予定。7月にとりまとめを行う。
- ・全国の地方鉄道は沿線人口の減少、マイカーへの転移などにより、利用者が大幅に減少する等危機的な状況にあり、これに加え、昨今の新型コロナウイルスによる影響が大きなダメージを与えている。この検討会は、人口減少社会の中で鉄道事業者・沿線地域と地方鉄道が置かれている状況について危機意識を共有し、いかにして利便性・持続性の高い地域モビリティを再構築していくか、また、そのために国としてどのような政策を行うべきか協議している。
- ・全国では、多くの沿線自治体が地方鉄道の在り方を自分事と捉え、鉄道事業者と協力し、利用促進の取組を行うことや、経営リスクを分担して、利便性や持続性の向上に努めている。
- ・本日の会議は鉄道事業者と沿線自治体がいかにして協働していくかを話し合う場になると思う。今後、さらに意見を出していただき、活発な議論を行っていただきたい。
- ・近年、自然災害も多く発生しており、鉄道はその影響を受け、長期運行不可となる例が見受けられる。
- ・令和元年には別所線千曲川橋梁、令和3年にはJR東海の飯田線松川橋梁、アルピコ交通の上高地線田川橋梁が被災した。鉄道の場合、被災すると長期間の運行停止に追いこまれることが多く、地域の足に大きな影響を与える。
- ・国土交通省においても、国土強靱化のための5か年対策により、河川橋梁の流出の対策、地下駅・電源設備などの浸水対策、地震による落橋対策、予防保全に基づいた鉄道老朽化対策などを令和3年度から令和7年度まで実施し、災害に備えていく。

※意見質疑

○別所温泉観光協会 倉島会長

- ・コロナ禍における影響もあり、別所線温泉観光協会として取組んできた、袴駅長が3月31日をもって廃止となった。
- ・日本遺産と連動して、7/1からレンタサイクルが開始される。しかし、コース整備、案内表示板の設置が進んでいない。また、インバウンドへの対応が不可欠となる中、ビジターセンターも必要になると考えられるため、別所線の黒字化に向けて、関係団体の連携を密にして対応してほしい。

○事務局 上田市交通政策課 山田補佐

・日本遺産では、塩田平地域が中心となるため、塩田まちづくり協議会でも検討会が設けられているが、塩田の館の活用も検討しつつ、ビジターセンターのあり方について引き続き議論していく。

⇒ 令和4年度 生活交通改善計画 資料6 - 1～資料6 - 10について、
原案のとおり承認

7 その他

○事務局 上田市交通政策課 竹内課長

・昨年、創立20周年を迎えた「信州上田フィルムコミッション」(FC)では、長年、映画ロケの誘致、支援活動を行っている。そして、今回、市内・別所線でもロケが行われた「きさらぎ駅」という映画が6月3日に公開となる。

・県内では、当面イオンシネマ松本のみでの放映となるが、今後FCでは上田での放映を働きかけていく。

→7/16(土)より2週間、上田映劇にて上映が決定した。

8 閉 会

○事務局長 上田市交通政策課 竹内課長